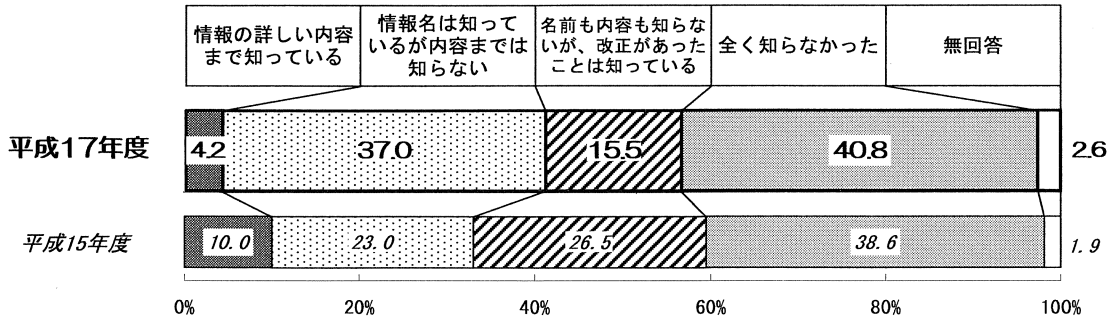


東海地震の予知に関連する情報は、 発生危険度に応じて3段階で発表されます。

Q 東海地震に関連する情報の出し方が3段階になったことをご存知ですか。



東海地震観測情報

観測された現象が東海地震の前兆現象であると直ちに判断できない場合や、前兆現象とは関係がないことがわかった場合に発表される情報。

●家庭では…

地元のテレビ、ラジオなどの情報に注意し、平常どおり生活しよう。

東海地震注意情報

観測された現象が前兆現象である可能性が高まった場合に発表される情報。

●家庭では…

地元のテレビ、ラジオなどの情報に注意し、念のため家の中や非常持出品の再点検をしよう。

東海地震予知情報

東海地震の発生のおそれがあると判断した場合に発表される情報。

●家庭では…

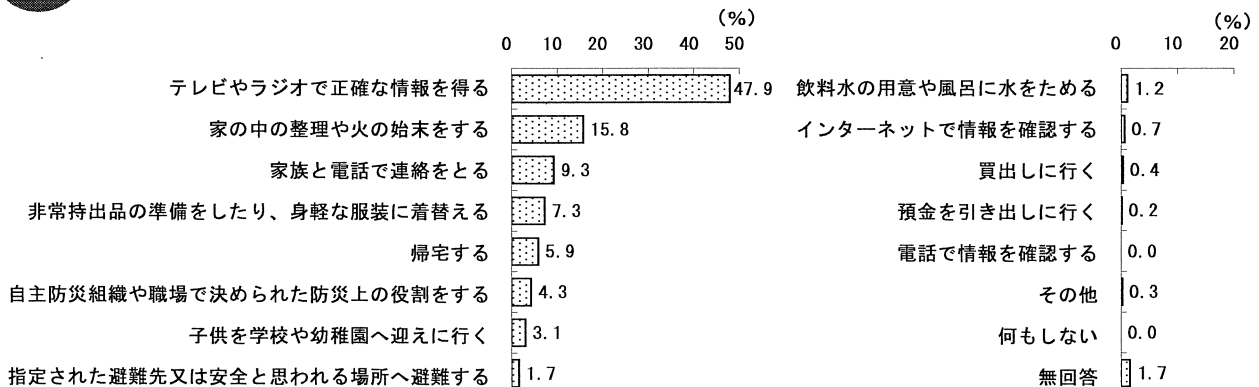
地元のテレビ、ラジオなどの情報に注意するとともに、東海地震の発生に十分警戒しよう。津波や山・崖崩れの危険予想内であれば、すみやかに指定避難地に避難しよう。

警戒宣言

危険度アップ

危険度アップ

Q 警戒宣言が発せられたとき、あなたは最初に何をしますか。

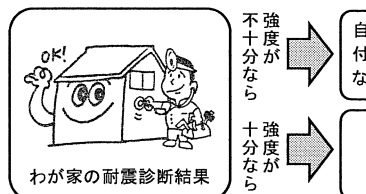


警戒宣言発令時の あなたの避難先は？

危険予想地域（市町指定）はすぐに避難



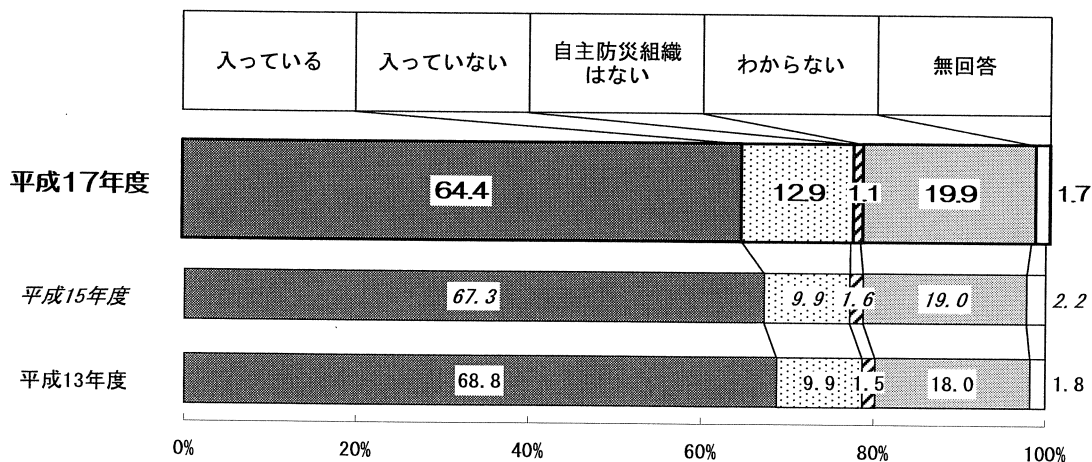
一般の地域では、わが家の耐震強度を考えて行動



※ただし、延焼火災の危険が予想される住宅密集地域の人はいつでも避難できる準備をする。

誰もが自主防災組織の一員であることを自覚してください。防災対策をすすめるためには、地域内での連携が大切です。

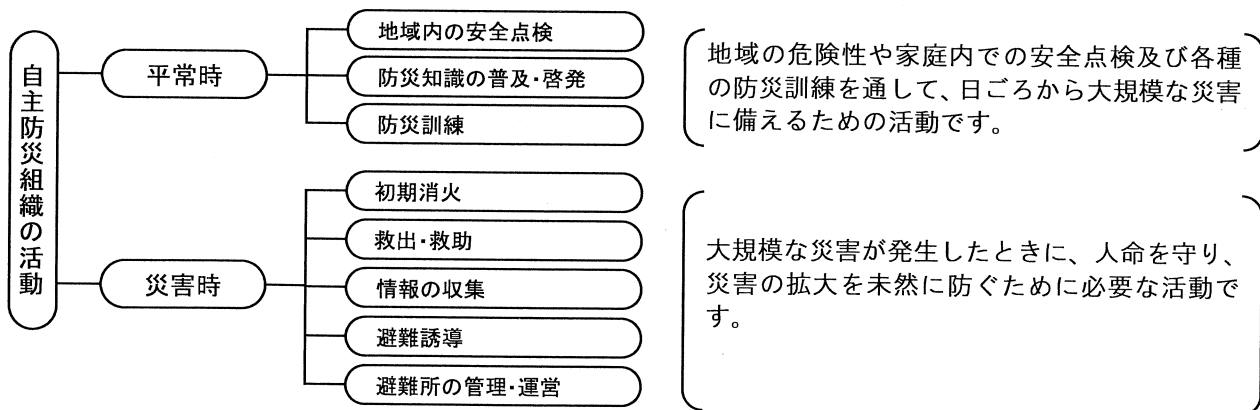
Q あなたのお宅は、地域の自主防災組織に入っていますか。



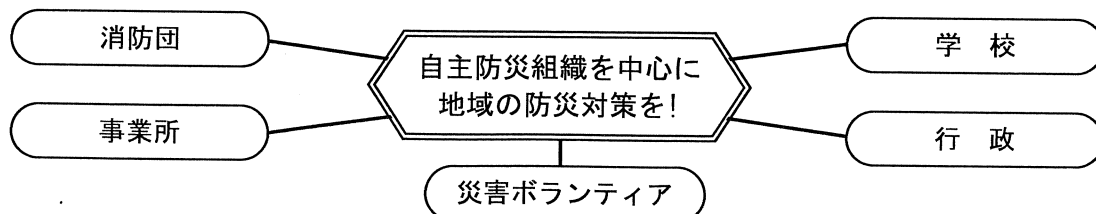
自らの命は自ら守る。自らの地域は皆で守る。——県民一人一人が自主防災組織のメンバーです。

予想される東海地震から自分や家族を守るためには、地震に備えて普段から十分な準備をしておくことが大切です。

しかし、個人や家族の力には限界があり、大きな災害に立ち向かうときには、危険や困難を伴う場合があります。このような時、毎日顔を合わせている隣近所の人たちが集まって、災害の拡大防止のために協力し、助け合う組織があれば、きっと役立つでしょう。これが自主防災組織です。

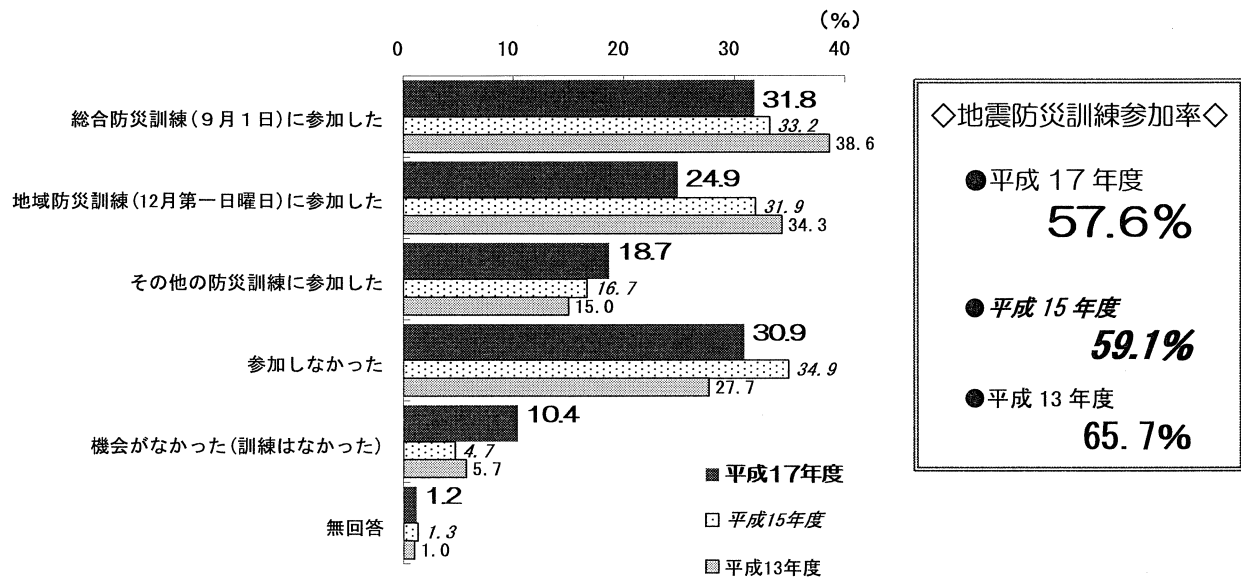


地域には防災に携わる様々な人たちがいます。いざという時には、お互いが協力し合い、一丸となって防災活動に取り組みましょう。



自主防災組織が中心となる地域防災訓練への参加がまだまだ少ないようです。 隣近所で声を掛け合い、訓練には皆で参加しましょう。

Q 過去1年間に、地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。



◆ 総合防災訓練（9月1日）（防災の日）

想定：東海地震の発生が予知されたことを想定

国・県・市町・各防災関係機関・自主防災組織が協力して実施します。警戒宣言の発令時や発災時に、各家庭や地域の自主防災組織が計画している対策を行い、防災行動を身につけることを目標とします。

◆ 地域防災訓練（12月の第1日曜日）（地域防災の日）

想定：突然東海地震クラスの大地震が発生したことを想定

各市町単位で、自主防災組織を中心に地震発生後の避難、消火、救護など一連の対応訓練を行いません。それぞれの地域の特性を生かした訓練を実施し、防災活動を身につけることを目標とします。

◆ 津波避難訓練（津波対策推進旬間（7月1日～10日）中で定めた日）

想定：突然地震が発生し、津波警報が発令されたことを想定

県・沿岸の市町、各防災関係機関、自主防災組織が協力して実施します。住民に対する情報伝達、観光客等海浜利用者への避難指示、遭難者救助訓練、防潮水門閉鎖訓練等を実施し、防災訓練を身につけることを目標とします。

◆ 個別訓練

各自主防災組織において情報の収集伝達・救出救助・初期消火など、個々の訓練を行い、それぞれの行動を身につけることを目標とします。



静岡県防災局防災情報室

電話 054-221-3694

防災情報室メールアドレス

boujou@pref.shizuoka.lg.jp

防災局ホームページアドレス

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/>

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています